



平成 19 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 エバラ食品工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 森村 忠司
(J A S D A Q ・ コード 2819)
問合せ先 専務取締役 水落 敏
(TEL . 045 - 314 - 0121)

平成 20 年 3 月期中間 (連結 ・ 個別) 業績予想との差異に関するお知らせ

平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の中間業績について、平成 19 年 5 月 10 日付の当社「平成 19 年 3 月期決算短信」において発表した業績予想との差異が生じる見通しとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

- 1 . 平成 20 年 3 月期連結中間業績予想数値との差異 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)
(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 19 年 5 月 10 日発表)	22,210	860	890	440
今 回 修 正 予 想 (B)	22,306	1,247	1,287	701
増 減 額 (B - A)	96	387	397	261
増 減 率 (%)	0.4	45.1	44.7	59.4
前期 (平成 19 年 3 月期中間) 実績	21,896	1,069	1,091	585

- 2 . 平成 20 年 3 月期個別中間業績予想数値との差異 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)
(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 19 年 5 月 10 日発表)	19,900	680	710	360
今 回 修 正 予 想 (B)	20,074	1,068	1,183	696
増 減 額 (B - A)	174	387	472	336
増 減 率 (%)	0.9	57.0	66.5	93.5
前期 (平成 19 年 3 月期中間) 実績	19,635	827	856	481

上記業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

3. 差異理由（連結・個別）

売上高につきましては、連結・個別ともにほぼ期初の計画どおり推移しております。一方、利益面に関しましては、原料及び包装材料の高騰を見込み、業績予想に織り込んでおりましたが、当中間期においてはその影響を最小限に留めております。また、下期の新製品発売と既存商品の拡販を見据え、宣伝費をはじめとする販売費を抑制したことと、設備投資の下期シフトも加わり、営業利益、経常利益、中間純利益ともに業績予想を上回る見通しとなりました。個別では、連結と同様の理由に加え、子会社の配当により営業外収益が増加したことから、経常利益、中間純利益が業績予想をさらに上回る見通しとなりました。

4. 通期の見通し

通期の見通しとして、売上高は期初の予想どおりを見込んでおりますが、利益面では原材料価格の動向が依然として不透明な状況にあるほか、今下期にはチルド（冷蔵）キムチの売上高の伸展によっては、売上原価率が上昇する可能性があります。また上記のとおり、下期には新製品発売に伴う宣伝費等の発生を予定し、また上期より順延された設備投資が上乘せされます。

これらの諸要因を勘案し、現時点では連結・個別ともに平成 19 年 5 月 10 日に発表した通期業績予想に変更はありません。今後の業績の動向により、通期業績予想の修正が必要となった場合には、すみやかに開示いたします。

以 上